



本事業は、SDGsの「17 パートナリーシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2026年5月13日（水）
愛知県政策企画局
国際課国際戦略グループ
担当 野村、中井
内線 2448、2399
ダイヤル 052-954-6130

知事の米国渡航中の行事結果について

2026年5月12日（火）午前、知事は米国テキサス州アーリントン市において「日本テキサス経済サミット」に出席しました。オープニングプレナリーに登壇し基調講演を行い、これまでの愛知県とテキサス州の交流内容や愛知県企業によるテキサス州経済への貢献等について発信しました。その後、同サミット会場において、ダスティン・バローズ テキサス州議会下院議長と面談しました。

午後には、ジョン・マンズ プレイノ市長、ビクター・ミラモンテス しらねなおこ 白根直子記念財団副会長と面談しました。

【日本テキサス経済サミット 概要】

主催：米日カウンシル

期間：2026年5月11日（月）～5月13日（水）（3日間）

会場：ライブ・バイ・ロウズ ホテル

内容：日本とテキサス州の間における経済協力とイノベーションの推進を目的とした国際イベント。知事は、サミット2日目のオープニングプレナリーに参加し、これまでの愛知県とテキサス州の交流内容や愛知県企業によるテキサス州経済への貢献等について発信する。

1 「日本テキサス経済サミット」オープニングプレナリー

（担当課：国際課）

(1) 日時

2026年5月12日（火）午前9時から午前11時まで

（日本時間5月12日（火）午後11時から13日（水）午前1時まで）

(2) 場所

ライブ・バイ・ロウズ ホテル（アーリントン市）

(3) 主催者

米日カウンシル

(4) 主な登壇者

大村秀章知事

スティーブ・サカナシ アビームコンサルティング ストラテジックパートナーシップ担当ディレクター

サチ・ハマイ 米日カウンシル理事長

ジム・ロス アーリントン市長

やま だ し げ お
山田重夫 駐米日本国大使

ダスティン・バローズ テキサス州議会下院議長

ピーター・サカイ ベアー郡長官

おが わ て つ お
小川哲男 トヨタ・モーター・ノースアメリカ株式会社 取締役社長兼 CEO

よし ぎ き と し ふ み
吉崎敏文 日本電気株式会社 執行役副社長兼 COO

スタンリー・レイノルズ セブン-イレブン 社長兼暫定共同 CEO

(5) 内容

大村知事は、「日本テキサス経済サミット」のオープニングプレナリーに登壇し、基調講演を行いました。冒頭、「MLB でのテキサス・レンジャーズの世界シリーズでの優勝を祈念する。また私は大学生時代にアメリカンフットボールをやっており、以来、ダラス・カウボーイズの熱烈なファンである。アメリカ建国 250 周年の記念すべき年に、カウボーイズがスーパーボウルで優勝することを祈念する。」と述べ、満場の拍手をいただきました。基調講演では、まず「愛知は Heart of Japan であり、テキサスは Heart of America である。両地域の人々が相互に行き交うことで、新たな交流が生まれるよう、win-win の関係を築いていきたい。本県とテキサス州は、アボット知事と私との間で、2016 年 4 月に『友好交流及び相互協力に関する覚書 (MOU)』を締結し、以降 10 年に渡って、着実に交流を重ねてきている。」と述べるとともに、2024 年にはこれまでの MOU をアップデートして新たに相互協力声明 (SMC) に署名したこと、そして、スタートアップ支援、医療、青少年交流など、愛知県とテキサス州が行ってきたこれまでの交流内容について紹介しました。また、「テキサス州にはトヨタを始め 32 社の愛知県企業が進出しており、愛知県企業を始め多くの日本企業がテキサス州に投資するとともに、雇用創出に貢献し、活発に経済活動を展開していることを誇りに思う。双方にとって自由貿易が非常に重要であることを御理解いただくとともに、今後こうした企業の活動に皆様のより一層の御支援をお願いする。」と述べるとともに、自動車産業に加え航空宇宙産業やロボット産業など、愛知が誇る産業集積について紹介しました。さらに、STATION Ai やジブリパーク、今年開催されるアジア・アジアパラ競技大会についても紹介し、愛知県の魅力を PR しました。

最後に、「愛知とテキサスの関係を拡大し、両地域の発展のために力を尽くしてまいりたい。皆様にも是非愛知へお越しいただき、一層交流が活発になることを期待する。」と述べて、基調講演を締めくくりました。

また、講演の前後の時間には、日本テキサス経済サミット主催者のサチ・ハマイ米日カウンシル理事長、アーリントン市のジム・ロス市長、ジェーン・ネルソン テキサス州務長官、ベアー郡のピーター・サカイ長官、山田重夫駐米日本国大使、小川哲男トヨタ・モーター・ノースアメリカ社長、スティーブン・サカナシ アビームコンサルティング ストラテジックパートナーシップ担当ディレクター始め、多くの皆様と交流しました。



基調講演全景



基調講演の様子



登壇者等との記念撮影※



アーリントン市長との記念撮影



ネルソン テキサス州務長官との記念撮影



ブライアン・トルービー米国建築家協会フェロー（左から2番目）との記念撮影

※左から、小川哲男 トヨタ・モーター・ノースアメリカ株式会社 取締役社長兼 CEO、スティーブ・サカナシ アビームコンサルティング ストラテジックパートナーシップ担当ディレクター、ジム・ロス アーリントン市長、マーク・オカダ 米日カウンシル副理事長、大村秀章 愛知県知事、ダスティン・バローズ テキサス州議会下院議長、山田重夫 駐米日本国大使、サチ・ハマイ 米日カウンシル理事長、フレデリック・H・カタヤマ 米日カウンシル副会長、ピーター・サカイ ベアー郡長官、吉崎敏文 日本電気株式会社 執行役副社長兼 COO

2 テキサス州議会 ダスティン・バローズ下院議長との面談

(担当課：国際課)

(1) 日時

2026年5月12日(火) 午前11時25分から午前11時45分まで
(日本時間5月13日(水) 午前1時25分から午前1時45分まで)

(2) 場所

ライブ・バイ・ロウズ ホテル (アーリントン市)

(3) 面談者

ダスティン・バローズ テキサス州議会下院議長

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、テキサス州議会ダスティン・バローズ下院議長と面談しました。

大村知事は、「今回、日本テキサス経済サミットに参加することができたことを大変嬉しく思う。愛知県とテキサス州は2016年4月に『友好交流及び相互協力に関する覚書(MOU)』を締結し、10年に渡り交流を深めてきた。テキサスは愛知にとって重要なパートナーであり、更なる連携強化を図っていきたい。」と話すとともに、「テキサス州にはトヨタ自動車を始めとする愛知県企業が32社進出しており、活発にビジネスを行っている。テキサス州の皆様のサポートに感謝する。」と話しました。

これに対して、バローズ下院議長は、「愛知県とテキサス州の交流が進んでいることを嬉しく思うと同時に、今後もさらに関係が深まることを期待する。日本は素晴らしい同盟国であり、さらにテキサス州にとっても日本はとても重要で素晴らしい経済パートナーである。今後も強い経済的なつながりを持ち続けていきたい。」と応じました。

また、大村知事が「プレイノ北米本社を構えているトヨタは、テキサス工場で生産されているピックアップトラック(タンドラ)を、今年4月より日本で販売しており、とても好評である。」と話したところ、バローズ下院議長は「タンドラはテキサス州でもとても人気があり、素晴らしい自動車である。」と述べました。

さらに、大村知事は「今後も愛知県とテキサス州との関係をさらに強化していくために、中部国際空港とダラス・フォートワース国際空港を結ぶ直行便の就航が重要である。ぜひバローズ下院議長にもサポートいただきたい。」と支援を要請したところ、バローズ下院議長は「喜んでサポートする。」と話しました。

最後に、大村知事は、「来月6月にはFIFAワールドカップがアメリカで開催され、ダラスで日本代表チームが2試合行う予定であり、多くの日本人がテキサス州を訪問するため、広くサポートをお願いしたい。また、今後も、ビジネス、観光、教育・文化面で、両地域の大勢の人々が相互に行き交うことで、新たな交流が生まれるよう、win-winの関係を築いていきたいと思う。愛知はHeart of Japanであり、テキサスはHeart of Americaである。愛知とテキサスの交流を一層深めていきたい。」と話し、バローズ下院議長は、「我々も愛知県とテキサス州の絆を深めていけるように力を尽くしていきたい。」と述べました。



バローズ下院議長との面談の様子



バローズ下院議長との記念撮影

3 プレイノ市 ジョン・マンズ市長との面談

(担当課：国際課)

(1) 日時

2026年5月12日(火) 午後1時15分から午後1時45分まで
(日本時間5月13日(水) 午前3時15分から午前3時45分まで)

(2) 場所

ライブ・バイ・ロウズ ホテル (アーリントン市)

(3) 面談者

ジョン・マンズ プレイノ市長

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、プレイノ市のマンズ市長と面談しました。

大村知事は、この4月にマンズ市長が愛知県に来県した時に引き続き、今回が5回目の面談となることの喜びを伝えるとともに、「テキサス州にはトヨタ自動車を始めとする愛知県企業が32社進出しており、その中心はプレイノ市にあるトヨタ自動車北米本社である。プレイノ市には、数々の日本企業がお世話になっていることに御礼申し上げます。」と発言しました。

マンズ市長は、4月に愛知県を訪問したことについて、大村知事へ感謝の意を伝え、「愛知県とプレイノ市は、今日まで良好な関係性を構築してきた。これは、様々な日本企業がプレイノ市を選んで進出してくれているからである。今後も、愛知とは引き続き近い関係でいられたらと思う。トヨタ自動車北米本社がプレイノ市に立地していることは、テキサス州全体の経済にとっても非常に好ましい影響をもたらしている。トヨタ以外にも、NTT DATA や DENSO など様々な日本企業がプレイノ市には立地しており、誇りに思っている。」と話しました。また、「今年は、アジア・アジアパラ競技大会が開催されることについてお祝い申し上げます。エキサイティングな大会になることだろう。大村知事が組織委員会会長としてしっかり準備・運営されているとお聞きしている。」と、大会についての期待を話しました。

これに対し大村知事は、NTT DATA や DENSO は、以前訪問したことがあることを伝え、その上で「アジア・アジアパラ競技大会は、是非とも成功させていきたい。一方でアメリカでは、来月には FIFA ワールドカップが開催され、AT&T スタジアムでは日本代表が 2 試合行う。多くの日本人サポーターがテキサスに訪れることとなるので、サポートをお願いしたい。」と述べました。マンズ市長からは、「日本代表対オランダ代表の試合が行われる前日の 6 月 13 日には、プレイノ市のダウンタウンで日本代表チームを応援するイベントを行う。」との説明がありました。

さらに大村知事は、「今後も日本・愛知と、アメリカ・テキサスがしっかりと連携していければと思う。今回の日米経済サミットは、規模がとて大きくて素晴らしいカンファレンスとなった。自動車、エネルギー、ファイナンス、デジタル、AI、ヘルスケアなど、様々なジャンルから多くの企業が参加していた。これは、テキサスには大きな可能性があるということの表れである。また、最近ダラスには証券取引所ができたと聞く。金融の面でも、テキサスがアメリカの中心になっていくことに期待している。」と話しました。

この発言を受け、マンズ市長は、「テキサス州のアボット知事も、愛知との関係を非常に重要だと思っている。これは、日米関係ということのみならず、日米両国の経済にとっても重要なことである。私も、日米関係と、日本とテキサスとの関係が今後も良好であるように努めていきたい。北部テキサスは近年人気が高く、多くの日本企業が集積している。日本から来ている方が、安全安心に暮らしていけるように努めたい。今回、日本テキサス経済サミットにおいて大村知事がスピーチしていただいたことを大変嬉しく思っている。愛知は、日本にとって重要な県であると同時に、テキサスにとっても全米にとっても重要な県である。」と述べました。

最後に、大村知事はマンズ市長に対して再会を呼びかけ、会談を締めくくりました。



マンズ市長との面談の様子



マンズ市長との記念撮影

4 白根直子記念財団 ビクター・ミラモンテス副会長との面談

(担当課：国際課)

(1) 日時

2026年5月12日(火) 午後1時55分から午後2時25分まで

(日本時間5月13日(水) 午前3時55分から午前4時25分まで)

(2) 場所

ライブ・バイ・ロウズ ホテル (アーリントン市)

(3) 面談者

ビクター・ミラモンテス 白根直子記念財団副会長

マキ・ワグナー // 事務局長

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

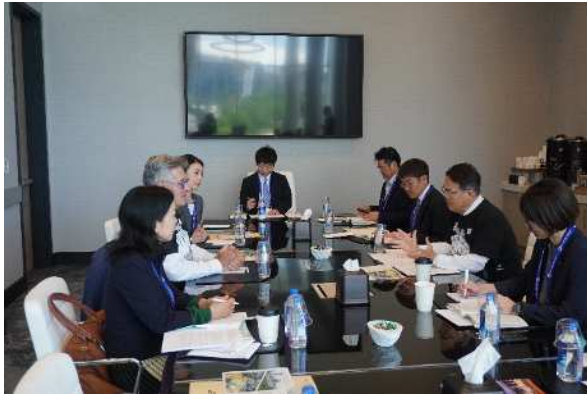
大村知事は、白根直子氏の日米交流における功績を記念して設立された白根直子記念財団のミラモンテス副会長と面談しました。

大村知事は、2025年4月以来6回目の再会の喜びを伝えるとともに、白根直子記念財団の方々が、ほぼ毎年、日本滞在プログラムの高校生と共に愛知県を訪問していることに感謝を伝えました。また、大村知事は、「日本テキサス経済サミットが2018年以来8年ぶりに開催され、大変嬉しく思う。これからも、テキサスの皆さんと愛知との間でさらに交流を深めていきたい。愛知県からも、過去に3回テキサス州に高校生を派遣しており、また、オンライン交流も行っている。学生の交流は大事なので、引き続きよろしくお願ひしたい。昨日、ベアー郡のサカイ長官とも話したが、サンアントニオ市との交流についても引き続きしっかりやっていきたい。」と話しました。

これに対して、ミラモンテス副会長は、「知事には、感謝を申し上げたい。私たちのみならず、青少年にもお会いいただき、知事本人がこういった17~18歳の学生に会っていただけるのは、非常にパワフルで大きなインパクトがある。さらに知事は彼らに対して子供としてではなく、大人として対応してくれた。そういったことを若者たちもしっかりと受け取っており、良い影響につながっている。多くの時間を割き、誠実に対応していただき、感謝を申し上げたい。」と話しました。

次に、ワグナー事務局長は、「来月伺う訪問団の旅は、日本へは7回目になる。3年前に知事に会っていただいた生徒は、今は大学に入り活躍している。特に嬉しいのは、日本の皆さんと出会うことで人生が変わったということであり、どんどん海外を経験しに出ていっている。みんな日本で刺激を受けたということで、未だに旅の話をいろいろなところでしてくれている。副会長も申し上げたが、17~18歳の子が、ビジネスの環境でスーツを着て、お話をさせていただくという機会はなかなかないので、貴重なお時間を作っていただいて感謝する。今年も訪問予定だが、みんな日本に行くことを楽しみにしている。」と話しました。

最後に大村知事は、「来月の訪問をお待ちしている。」と話し、再会を約束しました。



ミラモンテス副会長との面談の様子



ミラモンテス副会長との記念撮影
(NBA サンアントニオスパーズの
Tシャツを着て)

【白根直子記念財団 概要】

白根直子氏（1926～2013）の日米交流における功績を記念して、2016年7月18日に設立された非営利活動法人。ヘンリー・シスネロス氏（元サンアントニオ市長。クリントン政権で住宅都市開発省長官を務める。）が会長を務める。日米両国間の若者たちの教育、文化交流を目的とし、テキサス州ベアー郡及びサンアントニオ市に在学する高校生のための日本滞在プログラムを提供している。